

2018-2019 ガバナー月信

# GOVERNOR'S 10 MONTHLY LETTER 10



BE THE INSPIRATION

インスピレーションになろう

国際ロータリー第2510地区 2018～2019年度 ガバナー 小 山 司

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F TEL (011) 207-2510 FAX (011) 207-2512  
E-mail: rid2510@nifty.com <http://rid2510.org>

2018-2019年度国際ロータリーのテーマ  
**「インスピレーションになろう」**



**国際ロータリー第2510地区  
 2018-2019年度地区目標**

——— 持続可能な絶え間なき変革のスタート ———

1. 組織を活性化しよう
  - (1) 会員の維持、増加の推進
  - (2) 女性会員の増強
  - (3) クラブ役員、地区委員への若手登用の推進
2. ロータリーの認識・理解を深めよう
  - (1) 会員研修の充実・強化
  - (2) クラブ相互間、グループ相互間等のコミュニケーションの活発化
  - (3) ガバナー月信の内容充実、電子化の推進
3. 地域社会との関わり合いを深めよう
  - (1) 人道的奉仕活動の推進、ロータリー財団補助金の活用
  - (2) 青少年活動の支援・強化、地域社会との連携
  - (3) 広聴活動の推進

**CONTENTS**

●ガバナーメッセージ.....	1	●西日本豪雨義捐金報告/ガバナーノミニ候補者推薦のお願い.....	15
●10月米山月間を迎えるにあたって.....	2	●新会員のご紹介/訃報.....	16
●インスピレーションになりたい!.....	3	●米山奨学生のご紹介/米山記念奨学会寄付.....	17
●2019年度 ハンブルグ国際大会のご案内.....	4	●ポリオプラス委員会からのお知らせ.....	18
●芦別ロータリークラブ ポリオ・プラス募金活動報告.....	6	●ハイライトよねやま.....	19
●インターアクト研修旅行報告.....	7	●ロータリーコーディネーターNEWS.....	20
●第46回地区協議会の報告.....	8	●未曾有の危機「実践活動」.....	21
●第46回地区協議会を終えて.....	9	●地区カレンダー(10月・11月).....	22
●ガバナー公式訪問報告.....	10	●出席率・会員数.....	23
●翻訳『黄金の輪』の発刊に際して.....	14	●文庫通信.....	24



# ポリオ撲滅活動の近況報告： 10月24日は世界ポリオデー

国際ロータリー第2510地区

2018－2019年度ガバナー **小山 司**  
(札幌RC)

9月6日未明に発生した最大震度7の北海道胆振東部地震で被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。

現在までの調査では、ロータリー関係で停電、断水以外の人的被害は確認されていません。地区では、早速、高山和宏委員長、玉井清治、岡崎芳明の両副委員長を中心に北海道胆振東部地震救援奉仕プロジェクト委員会が発足し、被災地の情報収集、救援希望物質や不足分の把握などの調査がスタートしています。また、既に国内外から多くの義援金が寄せられており、受け入れ口座の設置と配付(活用)案の作成についても検討が進められています。偏りのない情報に基づいた救援活動をしていきたいと思っていますので、情報、ご意見をお寄せいただければ幸いです。

ガバナー公式訪問については、例会場が閉鎖となったため、6日の江別RCはもちろんのこと、7日の札幌南RC、8日の手稲RC、11日の栗山RCが延期となりました。各クラブの皆様には直前までお心配りを頂き、誠に有り難うございました。予定を改めて訪問させていただきます。

さて、10月24日はポリオデーです。ポリオワクチンを開発したソーク博士(1914～1995)の誕生日を記念して定められたこの日の前後には、世界中のロータリークラブや地区がポリオ撲滅を目的としたイベントを実施しています。公式訪問でお伝えしている通り、ポリオ撲滅はRIの最優先活動となっています。活動が始まった1988年の世界のポリオの発症は推定35万人とされていましたが、昨年2017年は22人、今年は半期末までの新たな発症は13人(アフガニスタン10人、パキスタン3人)です。確実にポリオフリーの世界に近づきつつあると言えます。常在国のうち、ナイジェリアでは1916年以来発症者0が続いています。アフガニスタンは紛争地域のため疫学調査や免疫活動が困難であり、パキス

タンのFATA(政府直轄部族地域)では、部族制度の伝統が強く、強い自治権を有していることから、ワクチン投与が行き届かないことが阻害要因となっているとのことです。

2017年、ビル&メリンダ ゲイツ財団はRIがポリオ撲滅のために集める募金に対して、その2倍の上乗せを約束しました。その結果、3年間で4億5000万ドルの高額の資金をポリオ撲滅活動に提供することが可能となりました。ポリオ撲滅に向けたあと一歩の挑戦に拍車がかかりました。天然痘に次ぐ歴史上2番目の疾病撲滅となることを共に期待しましょう。

1980年の1例を最後にポリオの発症が認められていない日本では、ポリオはすでに遠い国のことと思われるかもしれませんが、近年、国内発症が報告されているデング熱も同じように遠い国のことと思っていた日本人が多かったと思います。グローバル社会の到来によって、人々がビジネスや観光で国境を越えることが日常化しました。それだけに感染症対策はますます重要な課題となっています。

最後に、日本が感染症対策で国際的に重要な役割を果たしているという事実を紹介することにします。残念なことにほとんどの日本人に知られていません。2000年に沖縄で開催されたG8主要国首脳会議で、議長国の日本は途上国の感染症対策を先進国が積極的に支援すべきだというアジェンダを定めました。三大感染症のエイズ、マラリア、結核への対応費を資金援助するThe Global Fund(世界基金)という国立機関が設立されたのは、2年後の2002年でした。10年間でおよそ180億ドル、約1兆8000億円が支援策へ拠出され、三大感染症による死亡を世界でおよそ40%減らす成果をあげて、現在も活動が続けられています。本部はスイスのジュネーブですが、世界基金の「生みの親」は日本であると言えるのです。



# 10月米山月間を迎えるにあたって

地区米山記念奨学・学友委員会

委員長 **大石 清司**

(新札幌RC)

「持続可能な絶え間なき変革」の年度を迎え、当委員会でも目標にふさわしい活動を目指しております。また10月の米山月間をその起点にできる月間にしたと思っていますので宜しくお願い致します。

今年度は「現状維持はタブー」という事で従来の米山事業に加え、グループ交流をメインにした奨学生の一泊研修旅行・サブ世話クラブによる、より広範なクラブと奨学生との関わりの実現にもチャレンジしていく年です。

今年度は全国に3人しかいない「よねやま親善大使」に当地区札幌南RC出身の米山学友のイオンエさんが選ばれました、永年の米山事業に対しての当地区ロータリアンの皆様の御支援の賜物であり感謝に絶えません。

また去年の当地区新規米山奨学生から2名の方が博士号を取得されました、昨年では全国の820名の新規奨学生と卒業した学友から42名の方が博士号を取得されている中で非常に高い比率です。

9月1日・2日にはバスにて米山奨学生の一泊研修旅行が行われ、奨学生・カウンセラー・学友・米山地区委員総勢25名が第1グループの支援により、実りある研修旅行が開催されました。有り難う御座いました。奨学生も様々な交流と地域の自然・文化・歴史・産業に触れられ有意義な時間を過ごす事ができました。併せて奨学生卓話研修・カウンセラー研修も開催させて頂きました。

研修1日目には深川ロータリークラブが定例の昼例会の他に、私共の為に夜間例会を開催して頂き、心温まる歓迎と大交流会で地元ロータリアンと奨学生の楽しいパフォーマンスにも触れ、一泊も非常に有意義なものを実感致しました。よねやま親善大使のイオンエさんが深川RCさんとも深い交流もあって夜間例会に駆けつけて頂きました。

研修2日目は留萌RC、羽幌RC、妹背牛RCの皆様と留萌「黄金岬海のふるさと館」で合流、地域の自然・歴史・文化・産業に触れさせて頂きました。その後、増毛町の国希酒造さん等の見学、昼食交流会そしてお見送りまで同行して頂き誠に有難う御座いました。

行きは道央道、帰りは日本海側を走り、奨学生の皆さんには良い経験であったと思っています。また厳しい予算ということで毎年、山の手高校の理事長さんが札幌西北RCのロータリアンということで甘えさせて頂き、山の手高校さんの運転手さん共々バスの提供を頂いております、有り難う御座います。

今後の主な事業としては卓話月間の成功と地区大会のブースでの米山事業報告・ドリンクサービスによる奨学生とロータリアンとの交流。そしてサブ世話クラブへの奨学生の派遣があります。特にサブ世話クラブに関しては当地区初の事業です。米山事業が4月から開始、地区は7月新年度ということで若干進捗が滞っており、ご迷惑をおかけすることがあるかと思いますがよろしくご支援のほどお願い申し上げます。





# インスピレーションになりたい!

札幌南ライラックロータリー衛星クラブ

**李 英 愛**  
(イヨンエ)

2013年によねやま親善大使の制度がはじまり、今年の7月から第3代よねやま親善大使として活動をしています。事前にオリエンテーションと研修会があり、講師の\_pastガバナーや米山記念奨学会事務局の皆さんのお陰で親善大使としての仕事の意義を理解することができ、不安を自信に変えないと務まらないと自分自身に言い聞かせました。

地区・クラブに対する親善大使の役割は「奨学会に寄付した浄財が生み出した成果を知り、米山奨学事業の価値を確認し、さらなる支援の動機を高めること」と「学友の懸け橋としての役割を理解し、ともに繋がりを拓けること」です。「米山記念奨学会の財産は学友」との意識をもって米山記念奨学事業の意義と素晴らしさを実感して奉仕の輪を拓けていきたいと思っています。

先日世話クラブである札幌南ロータリークラブの皆さんと秋季例祭に合わせて米山梅吉記念館へ行ってきました。親善大使として紹介をしていただき、あいにくの雨でしたがお墓参りができて図書館にも立ち寄りました。また姉妹地区だった第3700地区の地区大会にRI会長代理としてご出席された第

2640地区の成川守彦パストガバナーにも15年ぶりに偶然再会しました。学友として10年近く韓国の姉妹地区との交流で通訳をさせていただいたことは、よねやま親善大使の応募へ繋がる貴重な経験であり誇りです。

米山奨学生に選ばれてロータリーのご支援で学ばせていただき、衛星クラブに入会して仲間として受け入れていただき、ロータリアンとの出会いは感動の連鎖です。これからも地区とクラブへ足を運んで奨学生・学友としての体験、奉仕活動体験、職業人としての体験・価値観などを話し、ロータリアンや奨学生や学友と交流を深め、米山記念奨学事業を支える方々へ感謝の気持ちを伝えたいです。





## 2019年度 ハンブルグ国際大会のご案内(第1報)

地区RI国際大会推進委員会 委員長 **武部 實**  
(札幌南RC・PG)

2019年ロータリー国際大会は、6月1日(土)から5日(水)にかけてドイツ第2の都市ハンブルグにて開催されます。ドイツ北西部に位置するこの都市は、経済の中心として有名なばかりではなく、港湾都市として歴史の詰まった街並みと豊かな大自然が見事に調和した街です。また、街の真ん中に横たわる湖や川が優雅に流れる個性的な街です。

国際大会にご参加の皆様へ、Aコース(6日間)、Bコース(8日間)をご用意しました。

A、Bコース共にご出発の6月1日から6月4日まで一緒に行動した後、Bコースはハンガリー(ブダペスト)へ足を伸ばし魅力多い旅程としました。

ヨーロッパで開催される国際大会に、多くの会員そしてご家族の皆様が参加され、ロータリーの真の国際性を目の当たりに奉仕と親睦という共通の絆を結びましょう!

多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

### Aコース

国際ロータリー第2510地区2019年

### ハンブルグ国際大会と現地名物料理を堪能するウィーン6日間の旅

\*各レセプション・利用ホテル・航空機等につきましては変更となる場合がございます。

日次	日付	都市名	時間	交通機関	スケジュール	食事		
						朝	昼	夕
1	6月1日(土)	新千歳空港 出発	07:30	NH-050便	空路、羽田空港へ移動(乗継)	×	機内	×
		羽田空港 到着 羽田空港 出発	09:05 11:15	NH-223便	羽田空港到着後、国際線ターミナルへ無料シャトルバスにて移動 空路、フランクフルトへ移動(乗継)			
2	6月2日(日)	ハンブルグ	終日	専用車	* 国際ロータリー2019年 ハンブルグ大会 参加 * 夜は北海道ナイト(別途、ご案内いたします)	○	×	北海道ナイト
3	6月3日(月)	ハンブルグ 出発 ウィーン 到着	15:15 16:45	OS-174便	ホテルにて朝食 ハンブルグ観光(市庁舎・倉庫街・聖ミハエル教会など) 昼食はレストランにてドイツ料理(シーフード) 到着後、専用車にて夕食へ(オーストリア料理)	○	○	○
4	6月4日(火)	ウィーン	終日	専用車	* 国際ロータリー2019年 ハンブルグ大会 参加 * 夜は北海道ナイト(別途、ご案内いたします)	○	×	北海道ナイト
5	6月5日(水)	ウィーン 出発 フランクフルト 到着 フランクフルト 出発	18:10 19:35 20:45	LH-1241便 NH-224便	ホテルにて朝食 ベルvedere宮殿、オーストリアギャラリー、ケルトナー通り、ミラベル庭園、旧市街を観光 ダス・ロフトにてウィーンの街一望しながらのご昼食 ミハエル広場周辺で自由散策(高級ブランド店街でショッピング) シェーンブルン宮殿(グランドツァー)観光後、市内レストランにて夕食 [所要時間 1時間30分] 【ウィーン泊】	○	○	○
6	6月6日(木)	羽田空港 到着 羽田空港 出発 新千歳空港 到着	14:55 17:00 18:30	NH-053便	ホテルにて朝食(Bコースの方とはホテルより別行動となります) 美術史博物館と歴史地区を観光後、ウィーンのカフェ文化を体験 昼食は市内レストランにて昼食、グラーベン周辺で自由散策 空路、フランクフルトへ移動(乗継) [所要時間 1時間30分] 【機内泊】	○	○	○
6	6月6日(木)	羽田空港 到着 羽田空港 出発 新千歳空港 到着	14:55 17:00 18:30	NH-053便	着後、入国審査・税関検査を済ませ国内線ターミナルへ無料シャトルバスで移動 空路、新千歳空港へ移動 新千歳空港到着後、解散です。 [所要時間 11時間10分/時差+7時間]	機内	-	-

※NH:全日空 / LH:ルフトハンザドイツ航空 / OS:オーストリア航空

※ご注意 / 発着時間、交通機関などは変更になる場合がございます。航空機の便名、時刻は予定です。○:食事付 ×:食事なし

■募集人員/40名様 ■最少催行人員/20名様

■添乗員/同行いたしません(現地ガイドが対応いたします)

■利用予定航空会社 / NH:全日空 LH:ルフトハンザドイツ航空 OS:オーストリア航空

■利用予定ホテル / ハンブルグ:メルキュールホテルハンブルグシティ(4つ星)

ウィーン:ラディソンブルパークロイヤル(4つ星)

(上記ホテルまたは同等クラスのホテル)

\*ご夫婦参加の場合、1ベッドになる場合があります。ご了承ください

\*ハンブルグのホテルは変更になる場合がございます

\*ハンブルグのホテルが変更になった場合は旅行代金も変更の場合がございます

■食事条件 / 朝食4回・昼食3回・夕食2回(北海道ナイト・機内食は除く)

(オプションツアー-6月4日実施)シェーンブルン宮殿VIPコース(夕食・送迎付)

[コース料理の夕食とミニクラシックコンサート8名様より催行 ¥35,000円]

■旅行代金(エコノミークラス2名1室)

**499,800円**

お一人部屋追加代 **140,000円**

ビジネスシート追加料金 **650,000円**

## Bコース

国際ロータリー第2510地区2019年

## ハンブルグ国際大会と現地名物料理を堪能するウィーン・ブタペスト8日間の旅

\*各レセプション・利用ホテル・航空機等につきましては変更となる場合がございます。

日次	日付	都市名	時間	交通機関	スケジュール	食事			
						朝	昼	夕	
1	6月1日(土)	新千歳空港 出発 羽田空港 到着 羽田空港 出発 フランクフルト 到着 フランクフルト 出発 ハンブルグ 到着	07:30 09:05 11:15 16:35 19:00 20:05	NH-050便 NH-223便 LH-030便 専用車	空路、羽田空港へ移動(乗継) 羽田空港到着後、国際線ターミナルへ無料シャトルバスにて移動 空路、フランクフルトへ移動(乗継) 空路、ハンブルグへ移動 着後、ホテルへ	[所要時間 12時間10分/時差-7時間] [所要時間 1時間05分] 【ハンブルグ泊】	×	機内	×
2	6月2日(日)	ハンブルグ	終日	専用車	※ 国際ロータリー2019年 ハンブルグ大会 参加 ※ 夜は北海道ナイト(別途、ご案内いたします)	【ハンブルグ泊】	○	×	北海道ナイト
3	6月3日(月)	ハンブルグ 出発 ウィーン 到着	15:15 16:45	OS-174便	ホテルにて朝食 ハンブルグ観光(市庁舎・倉庫街・聖ミヒャエル教会など) 昼食はレストランにてドイツ料理(シーフード) 到着後、専用車にて夕食へ(オーストリア料理)	[所要時間 1時間30分] 【ウィーン泊】	○	○	○
4	6月4日(火)	ウィーン	終日	専用車	ホテルにて朝食 バルベデーレ宮殿、オーストリアギャラリー、ケルトナー通り、ミラベル庭園、旧市街を観光 ダス・ロフトにてウィーンの街一望しながらのご昼食 ミヒャエル広場周辺で自由散策(高級ブランド店街でショッピング) シェーンブルン宮殿(グランドツアー)観光後、市内レストランにて夕食	【ウィーン泊】	○	○	○
5	6月5日(水)	ウィーン ブタペスト	午前 午後	専用車 専用車	ホテルにて朝食(Aコースの方とはホテルより別行動となります) 駅へ移動(大きな荷物はウィーンホテル等で保管いたします) レイルジエット(1等車)にてブタペストへ移動 ブタペスト到着後、市内観光 壮麗なゴシック様式のマーチャーシュ教会、 白い石灰石でできた幻想的な漁夫の砦 夕食後、ホテルへ	【ブタペスト泊】	○	○	○
6	6月6日(木)	ブタペスト ウィーン	午前 夜	専用車 専用車	ホテルにて朝食 終日、ドナウバント観光 ブタペストから船でセントンドレへ 芸術家が集まるドナウバントの玄関口セントンドレ観光 ハンガリーを代表する陶芸作家コヴァーチ・マルギットの美術館 専用車にてウィーンへ移動(約4時間) 夕食後、ホテルへ	【ウィーン泊】	○	○	○
7	6月7日(金)	ウィーン 出発 フランクフルト 到着 フランクフルト 出発	18:10 19:35 20:45	LH-1241便 NH-224便	ホテルにて朝食 美術史博物館と歴史地区を観光後、ウィーンのカフェ文化を体験 昼食は市内レストランにて昼食、グラーベン周辺で自由散策 空路、フランクフルトへ移動(乗継)	[所要時間 1時間30分] 【機内泊】	○	○	機内
8	6月8日(土)	羽田空港 到着 羽田空港 出発 新千歳空港 到着	14:55 17:00 18:30	NH-053便	着後、入国審査・税関検査を済ませ国内線ターミナルへ無料シャトルバスで移動 空路、新千歳空港へ移動 新千歳空港到着後、解散です。	[所要時間 11時間10分/時差+7時間] 【機内泊】	機内	-	-

※NH・全日空 / LH・ルフトハンザドイツ航空 / OS・オーストリア航空

※ご注意 / 発着時間、交通機関などは変更になる場合がございます。航空機の便名、時刻は予定です  
○:食事付 ×:食事なし

■募集人員/40名様 ■最少催行人員/20名様

■添乗員/同行いたしません(現地ガイドが対応いたします)

■利用予定航空会社/NH:全日空 LH:ルフトハンザドイツ航空 OS:オーストリア航空

■利用予定ホテル/ハンブルグ:メルキュールホテルハンブルグシティ(4つ星)

ウィーン:ラディソンブルパークロイヤル(4つ星)

ブタペスト:メルキュールブタペストブタホテル(4つ星)

(上記ホテルまたは同等クラスのホテル)

\*ご夫婦参加の場合、1ベッドになる場合があります。ご了承ください

\*ハンブルグのホテルは変更になる場合がございます

\*ハンブルグのホテルが変更になった場合は旅行代金も変更の場合がございます

■食事条件/朝食4回・昼食3回・夕食2回(北海道ナイト・機内食は除く)

(オプションツアー-6月4日実施)シェーンブルン宮殿VIPコース(夕食・送迎付)

【コース料理の夕食とミニクラシックコンサート8名様より催行¥35,000円】

■旅行代金(エコノミークラス2名1室)

619,800円

お一人部屋追加代 210,000円

ビジネスシート追加料金 650,000円

【お問合せ先】(申込期限 平成30年12月25日(火))

株式会社近畿日本ツーリスト北海道 札幌法人旅行支店

札幌市中央区北3条西2丁目2-1 日通札幌ビル6階

TEL:011-251-0011 FAX:011-251-3630

担当者:柴田・千葉 (お問合せ後、申込書を送ります)

## 北海道ナイトのご案内

参加料金15,000円~20,000円(予定)

開催日時6月2日(日)18:00~20:00(予定)

開催場所未定(後日ご案内いたします)

旅行代金に含まれない主なもの

※燃油サーチャージ・空港税(2018/9/03現在63,480円)

※旅程に示されていない交通費や宿泊費、飲食代

(超過手荷物料金)

※個人的費用(電話、クリーニング代、追加飲食代など)

## 芦別市のキラキラフェスタ（花火大会）にて 芦別ロータリークラブがポリオ・プラスの募金活動を実施

一風変わった花火大会（花火とレーザーの融合がテーマ）として知られるところの芦別市の花火大会（8月4日 キラキラフェスタ）の会場内において、芦別ロータリークラブが募金のためのブースを設置、ポリオ・プラスの募金活動を行いました。北正信財団委員長が中心となり、事前に周知ポスターや旗を準備し、林会長ほか芦別ロータリアンの有志会員が集結し、国際ロータリーの取り組むポリオ撲滅推進活動に関する、広報チラシ（600枚）を配布、5千人を超える見物客の会場内をくまなく回り、主旨説明と募金活動に奔走いたしました。その結果、15万円の善意協力の支援金が集まりました。

**世界ポリオ撲滅推進活動にご協力ありがとうございます。**

●ポリオとは  
ポリオ（急性灰白髄炎）は、ウイルス感染によって発症する病気で、ワクチンでの予防が可能です。感染した場合、ウイルスが神経細胞に入り、骨格筋を弱めたり、ときには死に至ることもあります。5歳以下の子どもに感染する確率が高く、「小児まひ」を併発されています。

●ポリオプラス  
ロータリーは1985年、大々的な予防接種を通じてポリオの撲滅をめざす「ポリオプラス」を開始しました。これまでに17億6千万人以上を投入し、ロータリー会員は、122年間の25億人以上の手配した予防接種行為のために多大な時間を捧げました。また、政府への働きかけを通じて、各国政府がワクチン接種の普及に貢献しています。

●世界ポリオ撲滅推進活動  
世界ポリオ撲滅推進活動（GPEI）は、ロータリー、世界保健機関（WHO）、ユニセフ、米疾病対策センター（CDC）、ビル&リンダケンズ財団、そして各国政府を含む市民共同の取り組みです。ロータリーは主に、アフガニスタン、アフドレインジヤ、ボツワナの国境沿いにおいて重要な役割を担っています。

●ポリオの現状  
現在57歳未満のポリオウイルスによる感染が起きているのは、アフガニスタン、ナイジェリア、パキスタンの3か国となっています。2016年に報告された野生型ポリオウイルスによる発症数は37件となっており、毎日の1,000件の発症が確認されていた1980年代と比較すると約95%以上の減少となっています。

●課題  
残る0.1%の割合との闘いが最も困難であると言われています。これは、遠隔地、不十分な公共インフラ、紛争、文化的障壁といった要因が、予防接種活動の妨げとなっているためです。ポリオを撲滅するまでは、世界中の国が再発生のリスクにさらされています。

●ポリオを撲滅するために  
ロータリーは、今年3年間ですべて5,000万ドルを集めるアフドレインジヤを行っています。ゲイ財団とのパートナーシップにより、ロータリーからの約1,000万ドルの寄付に対し、2倍の額の寄付がゲイ財団から上乗せされます。これらの資金は、撲滅活動の運営、医療従事者の育成、施設、保護従事者と親との教育のために使用されます。資金の確保においては、政府や企業、個人が大きな役割を果たします。

●活動するロータリー  
100万人以上のロータリー会員が、ボランティア、寄付、募金活動を通じて撲滅活動を支援してはいますが、大勢の会員がポリオ感染のリスクが高い海外の地域に赴いて、予防接種活動に参加しています。また、ユニセフとの関係と協力、紛争や地理的経済的障壁によって隔離された地域で予防接種への阻害を減らすためのコミュニケーション活動を実施しています。さらに、ボランティアがワクチン輸送などの手配でも支援を行っています。

●「あと少し」キャンペーン  
ロータリーは、ポリオ撲滅に対する一般の認識を高めるために「あと少し」キャンペーンを立ち上げ、以下を含む多くの著名人が参加しています。

- ビル・ゲイツ
- アズマン・ツツアス大司教（ノーベル平和賞受賞者）
- 樺井良子（元国連難民高等弁務官）
- ジュリア・ロバートソン（歌手）
- ニュー・ボブ・ディラン（歌手）
- アーニー・バング（女優）
- マヤ・アキコ（歌手）
- マヤ・アキコ（歌手）
- PSY（歌手）
- ジェン・ワグネル（自然保護活動家）
- A.R. ラフマーン、アジジ・ソーク・キジョー
- ネル・ホルゲンズ（歌手）
- ジョー・マートリー（アカデミー賞受賞者）
- ヴァンク・バルマン（バイオリン奏者）

Rotary 芦別ロータリークラブ  
ロータリー財団委員会

END POLIO NOW  
歴史をつくる  
カウントダウン

「小児まひ」  
ポリオが世界から撲滅されれば、突然に消えて2番目に撲滅された疾病となります。

**ご寄付を**

Rotary 芦別ロータリークラブ

END POLIO NOW  
歴史をつくる  
カウントダウン

Rotary





2018-2019年度 国際ロータリー第2510地区

# インターアクト研修旅行報告



地区インターアクト委員会

委員長 齋藤 貴之

(札幌モーニングロータリークラブ)

本年8月4日から7日までの3泊4日、第2510地区の5校より15名のインターアクター、5名の顧問教諭、2名のロータリアンの総勢22名で台湾へ研修旅行を実施致しましたので、ご報告させていただきます。当初より研修旅行の位置付けを明確化する為、「体験・交流・学び」と目的を掲げ、「実施チーム」を設立し、事前ミーティングを重ねて、プログラムのポイントや問題点の検証、リスクの洗い出しや、交流先の歓待へのお返し等、経験の深い教員のアドバイスや知見を共有し当日を迎えました。交流先は前年度より継続で、全土の自閉症の青少年を束ねる、「中華民国自閉症総会」、またRI第3490地区土城RCの洪俊傑様の多大なるご尽力により、台湾中部、RI第3470地区嘉義RCの提唱する、嘉義基督教協同高等学校のインターアクトクラブとの交流が実現でき、素晴らしい研修旅行になりました。

1日目は台北101から台北市街を一望し、その後台湾で最も活気のある士林夜市へバスで移動、地元の空気感を感じアジアの市場を体験するところからスタートしました。通じない言語を駆使した注文や価格の交渉などで文化の違いなどを体験し、海外の洗礼を浴びますが、普段当たり前前にコミュニケーションが通じる世界から飛び出し、スタートの場として良い機会であると感じます。

2日目は嘉義基督教協同高等学校インターアクトクラブとの交流でした。嘉義駅にて12名のインターアクターが歓待で出迎えてくれた後、日本人技師の八田与一が作った、八田ダムに向かい日本人によって台湾の開発が進み、今の台湾の礎を築いたことを感じました。その後同IACを提唱している嘉義東北RCの会員の板陶窯へと移動しここで交流会を実施しました。ガイドから板陶窯と板陶焼についての説明の後日台のインターアクターと一緒に板陶焼の絵付け体験を行い、体験終了後、双方のロータリークラブの挨拶やお土産の交換、インターアクターの挨拶を行った後、当地区のインターアクターから北海道の魅力とインターアクトの活動風景のプレゼンテーションを行いました。嘉義のインターアクターは英語で会話をし、青少年特有の協調性で言葉の壁も乗り越え、

昼食やそのあとの歌や踊りの披露、また共に踊ったりと、どんどん親睦が深まり、連絡先の交換などをして再会を約束しました。また台湾の皆様は歓待に対する情熱は素晴らしく、短い時間ですが貴重な国際交流の場を感じ、日台どちらかでの再会を祈念する姿は、相互理解の場として貴重で価値があるものといつも強く感じます。

3日目は総統府と故宮博物院を見学しました。総統府では統治時代からの台湾の歴史を学び、故宮博物院ではガイドから詳細な説明を受け大量の宝物を見学し中国の悠久の文化を学びました。昼食時には台湾で日台の懸け橋となるビジネスをしている山本氏から「戦中戦後の台湾について」という講話を頂き、ビジネス慣習などもおり混ぜながら日台の絆や友情の大切さ、また戦争の悲惨さなどを学びました。昼食後は5度目になる中華民国自閉症総会訪問で、全土の自閉症の青少年の組織を取り纏める総本部且つデイケア施設で交流を行いました。継続した交流により毎年の訪問を大変期待されております。施設の説明、デイケアルームにて施設利用者との交流、また一緒に折り紙を折る、踊りや歌を披露しあうなどのプログラムを行いました。インターアクターも、国籍や言葉の違いを超えてボランティアシップが伝わることを感じ、交流の意義を見出すことができていると感じます。3日目の最後はアニメ映画「千と千尋の神隠し」の舞台ともなった九份の体験と夕食でした。

総括として「体験・交流・学び」がテーマの研修旅行の中で、確実にインターアクターは一定の成長をし、支援を行うロータリーについて理解を深めていると感じます。目的を明確化することで、国際交流・国際理解・社会支援など重要な事象を感じ取り更に、国と人を通じて、自身の国や言語、歴史的背景、友情や学びなどを感じ、更に台湾のロータリアンやインターアクターとの継続した交流も、関係を深めていくために大変貴重であると考え、非常に意義のあるプログラムとなっているものと考えています。末尾となりますが、地区内の全てのロータリアンに対してご支援頂きましたこと、厚く御礼申し上げます。



## 第46回 地区協議会の報告

地区ローターアクト委員会

副委員長 **高橋 耕**

日頃よりローターアクトの活動に際し、ご理解とご協力を賜りましてありがとうございます。9月1日に室蘭北ローターアクトクラブのホストのもと、室蘭（ホテルサンルート室蘭）にて第46回地区協議会が開催されましたので、ご報告致します。

まず、福田武男ガバナーエレクトを始め多くのロータリアンの御臨席を賜りまして感謝申し上げます。

さて、室蘭北ローターアクトクラブはつい数ヶ月前は会員が1名という状況で、地区協議会のホストが厳しいのではと言われておりました。そのような中、提唱クラブである室蘭北ロータリークラブのご尽力により、20数名の20代前半の新会員が7月に入会しました。入会間もない会員によって、どのような地区協議会が開催されるか、やや不安を感じながらの参加でしたが、終わってみるとメインプログラム、懇親会と大変活況ある協議会であったと感じました。提唱クラブである室蘭北ロータリーク

ラブの皆さまの陰ながらのサポートがあったことは想像に難くなく、感謝申し上げます。

今回の地区協議会のメインプログラムはグループディスカッションで「ローターアクトとはどのような団体か」と「ローターアクトで実現したい奉仕活動を考える」をテーマに意見を交わすものでした。近年アクトは減少傾向でしたが、今回は室蘭北ローターアクトのほとんどが参加したこともあり、非常に活気のあるディスカッションとなり、様々な案が出ておりました。

ローターアクトに触れる機会がないロータリアンにローターアクトを理解してもらうことは、ローターアクト委員会の責務と常々感じております。我々は色々な形で周知できればと思いますし、少しでも多くのロータリアンにローターアクトの地区行事に参加をしていただきたく、また理解していただきたく今後も活動して参りますのでよろしくお願い致します。



# 第46回地区協議会を終えて

国際ロータリー第2510地区

ローターアクト代表 **小野寺 知香**

去る9月1日に室蘭市・ホテルサンルート室蘭において、第46回地区協議会が開催されました。

今回の地区協議会は「一致団結」というテーマのもと、今年度から新たに加わりました室蘭北ローターアクトクラブの皆さんをはじめ、地区役員としても一致団結し、できる限りのサポートをさせていただきました。

今回地区役員として準備の段階から、サポートをさせていただいたことは、年齢や経験も含め若い会員が多い当地区の現状の中では、勉強になることがたくさんあったのではないかと思います。

地区協議会当日につきましても、室蘭北ローターアクトクラブより多くの会員が出席し、ここ数年ではなかった賑やかさがありました。

人数が集まる、ということだけでも、会場設営から二次会までの雰囲気、楽しさなどが大きく変わってくることを実感させていただきました。

メインプログラムであるグループディスカッションを通してローターアクトに対する考えや意識を会員一人一人が再確認しながら互いに共有し、大変有意義な時間になったのではないかと思います。

私自身、今いる会員がどのような気持ちをもってローターアクトに入会しているのかなど、グループディスカッションを通して知ることができましたし、新しい会員も含め、今回メインプログラムにもご参加賜りましたロータリークラブのみならずとも交流を深めることができ、大変貴重な時間となりました。

さて、今回の地区協議会を通して改めて感じたことがございます。

当地区の課題といたしまして、最近では【会員減少・会員不足】という言葉を目にする機会が多くなりました。

その影響は、各行事へ参加している際や、自クラブの

活動を通したなかでも実感することがあります。

色々な行事へ参加させていただいているなかでも、顔を合わせる会員が固定化されてきていたり、自クラブの活動をするなかでも会員が減少してきているなか、一人一人の負担が大きくなっています。

しかし、今回室蘭北ローターアクトクラブの会員が増え地区協議会を盛り上げてくれたように、各クラブの会員が増えれば、各種行事をホストするにしても、色々な活動をするにしても、会員一人への負担が軽減されるほか、地区全体が賑わい、活気あふれる地区へとなるのではないかと思います。

そのためには、私をはじめ、今いる会員が積極的に活動をしていくのはもちろんのことではございますが、何分私たちだけでは力不足な部分が多くあります。

その際には、ロータリークラブの皆様方のお力添え、ご指導ご鞭撻を賜りたくお願い申し上げます。

今回の地区協議会で学ばせていただいたことや感じたこと、互いに築いた横のつながりは今後さらに発展させ、ローターアクトの活動にとどまらず、私生活へも生かしていきたいと思っております。

最後になりますが、今回の地区協議会の開催にあたり、当日ご参加賜りました国際ロータリー第2510地区ガバナーエレクト 福田 武男様をはじめとする多くのロータリアンのみならず、そしてローターアクトのみならずにも感謝申し上げます。

あわせて、地区協議会当日まで準備等を進めてくださいました室蘭北ローターアクトクラブのみならず、そして提唱ロータリークラブの室蘭北ロータリークラブの皆様方にも重ねて感謝申し上げます。

ありがとうございました。



## ガバナー公式訪問報告

紙面の都合ならびに原稿の到着日により掲載が前後する場合がございますので、ご了承ください。

## 函館亀田ロータリークラブ 8/6日

8月6日(月)、小山ガバナー、第10グループ赤塚ガバナー補佐をお迎えしてガバナー公式訪問が開催されました。

10時からの会長・幹事懇談会では、木戸浦会長より今年度の会長方針・活動計画を説明させて頂き、若い会員が多い活気あるクラブであることをアピールしました。

11時からのクラブアッセンブリーでは、各委員長より今年度の事業活動計画、終了した事業報告を発表し終始和やかな雰囲気の中で終了しました。ガバナーより「地域の方々にロータリークラブを知ってもらうため、会報を活用してはどうか」とのアドバイスを頂きました。

12時半からの例会の前にガバナーより「100周年記念ロータリーの鐘」の披露と説明を受け、当クラブは2510地区の中では47番目に設立されたとのことで、木戸浦会長が恐る恐る音色を響かせました。

ガバナーからは、会員増強・RLIの実施・ポリオ撲滅運動などについてお話を頂き、今後のクラブ活動に向け有意義な時間となりました。会員一同心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



## 函館東ロータリークラブ 8/7日

8月7日(火)、今年度の「ガバナー公式訪問」が小山ガバナー、田嶋ガバナー補佐をお迎えして当クラブ例会場のホテル函館ロイヤルにおいて開催されました。

午前10時からの会長・幹事懇談会では、当クラブの現状と奉仕活動の内容等を説明させて頂き、ガバナーから貴重なご意見や感想をお聞きし、限られた時間でしたが、有意義な懇談会となりました。

午前11時からのクラブアッセンブリーでは、各委員会より今年度の活動計画、進捗状況について説明が行われました。各委員長との意見交換では、ガバナーから各委員会へ貴重なアドバイスを頂戴し、今後の奉仕活動に活用させていただきたいと思っております。

例会卓話では、会員増強についてのお話で、女性会員、若い世代の会員の増強が急務であることに触れられ、当クラブでの女性会員の割合が18%であることに大変関心を示していただきました。また、RLIプログラムについてもお話され、このプログラムのロータリーについてディスカッションをし、問題解決につなげる手法に賛同して、今後のクラブ運営に活用していこうと思われました。

前日からの当地区訪問で強行スケジュールにも係わらず情熱溢れるお話に感銘致しました。



## 北斗ロータリークラブ 8/9日

8月9日(木) 小山司ガバナー、田嶋英人ガバナー補佐を迎えての公式訪問が行われました。午前10時より「会長・幹事懇談会」を、当クラブ会長、幹事、会長エレクトの3名が出席し小山ガバナーの進行により進められました。

当クラブ佐藤会長より、継続事業の第12回「きつずアドベンチャーキャンプ」、当ロータリークラブ、函館地方隊友会、同北斗市支部、陸上自衛隊函館駐屯地第28普通科連隊、北斗スポーツクラブ、北斗市内教職員有志、北斗市、同教育委員会、函館大谷短期大学、南渡島消防本部との合同活動について報告。次に、当クラブの現状として、会員数が12名の為、今年度の活動目標として、国際ロータリー、地区同様、会員増強に向けた活動を全会員で、取り組む事を報告。午前10時より「クラブ協議会」が開かれ、佐藤会長の進行により、5大奉仕委員長より今年度の活動計画の報告を行い、小山ガバナー、田嶋ガバナー補佐より貴重な助言を頂きました。引き続き午後12時30分より、例会を行い小山ガバナーより国際ロータリーの現状、日本ロータリーの現状と今後について、今年度の「地区基本活動方針」及びRLIについてお話して頂き、又、楽しめるロータリーにして欲しいとお話を頂き、大変有意義な公式訪問を終了しました。



## 函館セントラルロータリークラブ 8/7(火)

8月7日(火)小山ガバナー、赤塚ガバナー補佐をお迎えしてガバナー公式訪問が開催されました。

16:00より会長・幹事懇談会、17:00からクラブ協議会、18:00より夜間例会が行われました。

会長・幹事懇談会では、当クラブの現状についてお話をさせて頂き、ガバナーよりローターアクトについての貴重なご意見と第2510地区対する思いを聞かせて頂きました。

クラブ協議会では、各委員会の活動計画発表の後に、小山ガバナーより各委員会について講評を頂きました。ガバナーより「クラブ協議会の本来の姿、折り目の正しさを感じたクラブ」とお言葉を頂きました。

夜間例会では小山ガバナーより貴重な講話を頂きました。その中で、今年度の国際ロータリーの活動の指針などを中心としたお話を伺い、丁寧にご指導を頂きました。

当クラブは、今年度活動計画書に基づき活動を進めて参りたいと思います。

小山ガバナー、赤塚ガバナー補佐、公式訪問ありがとうございました。



## 室蘭北ロータリークラブ 8/21(火)

8月21日(火)、小山司ガバナーをお招きし、公式訪問が行われました。16時からの会長・幹事懇談会では「委員会を中心とした活動の活性化」、「RACの世話クラブとしての心構え」、「会員増強の取り組み目的」について意見を交わす事が出来、本音を交えた懇談会として大変有意義な時間となりました。17時からのクラブ協議会では「会員の年齢構成にバランスが取れている点」、「委員長と副委員長に世代バランスを考慮している点」を評価いただきました。

また入会3年未満の会員からの質疑にも「人との繋がりを重視」、「ロータリーの歴史を学ぶ事」がロータリアンとして楽しむポイントとして適切にアドバイス頂きました。18時からの例会では「百年の鐘の紹介」、「ロータリーと北海道の歴史の繋がり」、「会員増強の目的」、「ポリオ撲滅の状況」、委員会を知る機会として「RLI」の紹介をしていただき、閉会では小山ガバナーによる「百年の鐘」での点鐘を頂き更には例会出席率も90%を突破するなど、心に残る例会となりました。

またお疲れにも関わらず、2次会にもご出席頂き意見交換することが出来、大変感謝しております。

この経験を糧に室蘭北ロータリークラブ会員一同、更に邁進出来ればと考えております。

最後に、小山司ガバナー、斎藤正史ガバナー補佐、鈴木高志ガバナー補佐幹事、心よりお礼申し上げます。



## 室蘭東ロータリークラブ 8/22(水)

当クラブ(室蘭東ロータリークラブ)には、8月22日(水)、小山司ガバナーはじめ、斎藤正史第9Gガバナー補佐、鈴木高士同ガバナー補佐幹事の3名での訪問をいただきました。

例会への訪問に先立ち、当クラブ会長幹事らとの懇談会、小山ガバナーら臨席の上でのクラブ協議会が行われ、はじめに行われた当クラブ会長幹事らとの懇談会には、当クラブから会長、会長エレクト、幹事の3名が出席、当クラブ奈良会長が今年度の基本方針、クラブの特色や、会員増強の成果などを報告をした上で、小山ガバナーら出席者全員、これらを話題に、打ち解けて親しく会話を弾ませました。

次に行われたクラブ協議会では、各委員会委員長が活動計画、目標を発表する中、小山ガバナーは、専門職の多い当クラブの特色を生かした「あれこれ何でも相談会」や、50年以上の歴史のある大谷室蘭高等学校の「インターアクトクラブ」、子育て支援の「ワニワニクラブ」、第9Gの共同事業などに評価と関心を寄せられていました。

また、クラブ協議会には、この1年間に入会した新入会員のうち5名が同席、会員増強の成果を披露し、小山ガバナーは、当クラブの会員増強の意気込みを感じ取っておられました。

その後の例会では、小山ガバナーに卓話をいただき、当クラブの各事業や会員増強について重ねて評価をいただきました。

一方、小山ガバナーからは、懇談会、クラブ協議会、例会卓話を通じて、クラブ事業の企画立案機関となる各委員会開催による活動の強化、ロータリー情報にいつでも触れられるマイロータリーへの登録促進、質の高いリーダーシップ教育を通じてロータリークラブを強化するためのRLI(Rotary Leadership Institute)への参加、会員増強とクラブの活性のための柔軟なクラブ運営、撲滅目前のポリオ・プラスへのさらなる支援などについて、一層の理解と協力への期待が語られ、会員各々は、ロータリー一員としての意識を新たにす機会となりました。



**洞爺湖ロータリークラブ 8/23日**

8月23日(木)小山司ガバナー、齋藤正史ガバナー補佐、鈴木高士補佐幹事をお迎えし公式訪問を開催しました。午後3時の真屋洞爺湖町長への表敬訪問から始まり、ホテル洞爺湖万世閣にて会長・幹事懇談会、クラブ協議会、例会を行いました。会員数9名の少人数のクラブのため全員がなんらかの役員をしているため会長幹事会以外は全員参加で協議会、例会を行いました。当クラブは今年度50周年を迎えるに当たり、とくに会員増強に注力しており、ロータリーの友等を活用し、奉仕活動をガラス張りにして町民に理解していただくなどの助言をいただきました。また質の高いロータリーにしていきたいとの考えで問題解決セミナーRLIへの参加依頼もされました。例会においては100周年記念ゴングをお持ちいただき、吉田会長が代表して小槌にて音の聞き比べをさせていただきました。また北海道とロータリーの関わりのお話で、北大初代総長で札幌RC初代会長でもある佐藤昌介氏のお話や吉田松陰のお話などであっという間に時間が過ぎてしまいました。最後に会員増強セミナーの冒頭で流れたVTRを観ていただき小山ガバナーの今年度地区目標を確認して例会を終えました。帰り際に50周年式典にご出席いただけるとお約束いただきました。

大変有意義な時間となり、会員一同心より感謝申し上げます。



**室蘭ロータリークラブ 8/23日**

8月23日(木)小山ガバナー、齋藤ガバナー補佐、鈴木ガバナー補佐幹事をお迎えし、当クラブへの公式訪問が開催されました。

10時から会長・幹事懇談会が行われ会長より近年の課題である会員減少と出席率の低迷の報告と、今年度のクラブ方針、欠席会員の訪問取組予定などの説明が行われました。

11時からのクラブ協議会では、各委員長、担当責任者が今年度方針を発表し、小山ガバナーから当クラブの歴史の重さに敬意を表しつつ課題として若手クラブ員の増強などの講評をいただきました。

例会では、日本のロータリー100年を記念して制作した記念鐘の紹介と点鐘を行い音色の違いを出席会員全員で実感いたしました。

記念講演では、ロータリークラブ員の増減推移を全世界と日本、その他のアジア、アフリカ地域の趨勢の紹介と日本の人口減少社会におけるロータリークラブのあり方についてご説明頂きました。また、今年度の地区運営方針として地区委員会を積極的に活用し会員の研修に役立ててもらいたいとお話をいただきました。

出席した会員は、広い視野でのロータリー活動と地区の活用など大変参考となる例会となりました。



**札幌北ロータリークラブ 9/3日**

9月3日、小山司ガバナー、中村和雄第4グループガバナー補佐をお迎えし、ガバナー公式訪問が開催されました。10時よりの懇談会では会長・幹事、会長エレクト・副幹事も同席させて頂きました。事前提出の資料を基に当クラブの特徴などを説明させて頂きました。小山ガバナーからアドバイスを戴きました。11時からのクラブ協議会では、理事・委員長出席のもと、各委員会の活動計画・現況をご報告させて頂きました。小山ガバナーよりロータリー財団・米山記念奨学会への累計寄付額とその取組み方や、会員増強に向けての取組、又会員の年齢構成や女性会員の割合、地区委員会への協力・活動人数に関してお褒めのご講評を頂きました。12時半より公式訪問例会が開催されました。2020年に日本のロータリーが100周年を迎えるにあたって、各地区に頂いた日本のロータリー創立100周年の鐘をお持ちくださり、栗原会長により鐘の音を響かせて頂きました。ロータリーの歴史、北海道におけるロータリーの歴史、又クラブに於いての世代間交流の重要性を唱えていらっしゃいました。ご多忙の中、大変貴重な記念の鐘をお持ち頂き当クラブを訪問して頂きました。小山司ガバナー、中村和雄第4グループガバナー補佐には心より感謝申し上げます。今後も健康に留意され、ご活躍されます事をお祈り申し上げ、公式訪問のお礼とご報告とさせていただきます。



## 岩見沢東ロータリークラブ 9/4㈬

ガバナー公式訪問が、9月4日に当クラブの例会場である岩見沢平安閣において、小山ガバナー、第3グループ福井ガバナー補佐、中村ガバナー補佐幹事をお迎えして行われました。

会長・幹事懇談会では、会長、幹事の他に、会長エレクト、副会長、副幹事も交え、当クラブの活動内容、現在及び将来の課題等を説明させて頂きました。引き続いてのクラブ協議会では、各委員長がより詳細な活動内容をご報告致しました。小山ガバナーからは、「少人数のクラブではあるが充実した活動を行っているようだ」と一定のご評価を頂きました。

協議会後の例会では、「クラブの良い雰囲気を次世代に引き継ぐためにも、若い人の入会に努めてほしい」というガバナーからの貴重な助言があり、また、ロータリー100周年の鐘をご披露いただき、その音色を楽しむことが出来ました。

小山ガバナーのご助言を肝に銘じ、今後当クラブの発展に努めて参りたいと思います。ご訪問頂いた小山ガバナー、福井ガバナー補佐、中村ガバナー補佐幹事に感謝申し上げます。有り難うございました。



## 札幌大通公園ロータリークラブ 9/4㈬

9月4日、小山ガバナー、関堂ガバナー補佐をお迎えし、本年度のガバナー公式訪問が行われました。会長・幹事懇談会では、当クラブの現状、活動をご報告申し上げ、クラブ運営面での問題点に対しては、豊富なお経験からのアドバイスを頂くなど大変勉強になりました。例会においては、和やかな雰囲気の中、小山ガバナーよりご挨拶の卓話を頂き、今年度の目標、重点課題、会員増強の必要性を判りやすくご説明いただきました。

ご多忙の中、クラブ訪問を頂き誠にありがとうございました。

会員一同、大変有意義な時間を過ごすことができました事、心より感謝申し上げます。



## 札幌モーニングロータリークラブ 9/5㈬

平成30年9月5日(水)午前7時30分より、センチュリーロイヤルホテル20階にて、小山司ガバナーと中村和雄ガバナー補佐をお迎えし、ガバナー公式訪問例会が開催されました。さわやかな朝のすがすがしい景色の中、ラジ



オ体操で気持ち良く体を整え、札幌モーニングロータリークラブのオリジナルソング「さわやかな朝に」を歌い、大変和やかな雰囲気の中、例会がスタートしました。

小山ガバナーからは、バリー・ラシンRI会長の本年度の方針、地区での取り組み、会員の動向等、多岐にわたりお話を頂きました。また我がクラブの独自の活動であるカミネコン植樹に関し、ご理解を示され、今後の活動に関しても多くのご質問を頂きました。本年度は、本例会後の同日午後5時より、会長・幹事懇談会及びクラブ協議会も行われ出席者である露木会長他、各役職の会員の話に熱心に耳を傾けて頂きました。

大変ご多忙な中での公式訪問、誠に有難うございました。





## 翻訳『黄金の輪』の発刊に際して

地区学友委員会

委員長 **菅原 秀二**

(札幌大通公園RC)

デイビッド・シェリー・ニコルの著作『黄金の輪—ロータリー物語』の翻訳は、当地区の財団学友会10周年記念事業として、札幌セントラル・ロータリークラブの後を引き継ぐ形で、2012年に開始されました。その経緯は翻訳のあとがきにも書きましたが、お亡くなりになった石垣パストガバナーの依頼によるものでした。

『黄金の輪』について、石垣先生から初めてお話を伺ったのは、2010年のことでしたが、その後、石垣先生の所属する、今はもうなくなってしまいましたが、札幌セントラルRCの創立10周年記念誌（2012年11月）に、この『黄金の輪』の第1章から第7章までと最後の第24章の翻訳が掲載されました。これを基に残りの章を学友会で受け持ってくれないか、というのが先生の正確な意味でのご依頼でした。もちろん、私はすでに学友会の役員会に諮っており、2012年の2月11日に開催された「第2510地区財団学友会設立10周年記念式典・祝賀会」において、この翻訳事業を「10周年記念事業」とすることを発表しておりました。札幌セントラルRCと第2510地区の財団学友会は、同じ年に発足し、当然同じ年に創立10周年を迎えていました。これも何かの縁なのかもしれません。

さて、2012年の設立記念式典が終わった後、残りの章を分担しテキストを皆さんに配布しました。関係した学友は20名程度になります（お名前は目次をご覧ください）。しかし、ここからが大変でした。つまり、予想した以上にテキストが難しかったからです。最初の原稿は2012年の9月には、早くも送られてきたのですが、今年は2018年ですから、それから6年もかかってしまいました。最後まで原稿が集まらず、ついにギブアップされた方もいらっしゃいます。

さて、少し原稿が集まり始めたとき、2013年3月29日のことです。石垣先生は翻訳に関係している方を集め

て欲しいと要望されました。私は「翻訳連絡会」と称して、来ることが可能な方を集めてみました。その場で、先生は翻訳を断念したい旨のお話をされました。私たちはせっかく始めたのだから続けさせて欲しいと訴えました。今思えば、先生はこの年の7月にお亡くなりになりましたので、体調の悪化を自覚されていたのかもしれませんが、皆さんの負担になる仕事を残して逝くわけにはいかない、という先生一流の責任感の表れだったのでしょうか。それから完成まで、さらに5年の月日が流れてしまいました。もし、先生が今もご存命ならば、さぞお喜びになっただろうと悔やまれます。

これもひとえに私の力不足に由来するものです。それを補っていただいたのが、学友会の仲間の皆さんでした。皆さんには言葉では尽くせないほど感謝しております。

いろいろな苦難を経て、ようやく完成した『黄金の輪』ですが、この本はポール・ハリスとチェスリー・ペリーを主人公としながらも、アメリカばかりではなく、むしろヨーロッパであるいは全世界でどのようにロータリー運動が普及し、それがどのように2度の世界大戦を生き抜いてきたのかの記述に精彩を放っているように思います。もちろん、イギリスやアイルランドで独自の発展を遂げてきた様子もしっかりと書かれています。10月の地区大会までには、各クラブに1冊配布するとともに、地区大会のブースでも頒布する予定ですので、是非、お手にとっ





## 【西日本豪雨義捐金】報告

地区内各クラブに募金のお願いを致しました7月5日から西日本を中心に発生した梅雨前線を原因とする集中豪雨災害に対する義援金について下記60クラブから2,352,324円を頂戴致しました。

最も被害の大きいD2710（広島・山口）、D2690（岡山・鳥取・島根）、D2670（愛媛・香川・高知・徳島）の3地区に各784,108円を支援・送金致しましたのでご報告申し上げます。ありがとうございました。

深川RC・羽幌RC・妹背牛RC・留萌RC・赤平RC・芦別RC・砂川RC・滝川RC・美唄RC・江別RC  
江別西RC・岩見沢RC・岩見沢東RC・栗沢RC・栗山RC・当別RC・札幌RC・札幌はまなすRC  
札幌北RC・札幌モーニングRC・札幌西RC・札幌西北RC・札幌手稲RC・札幌東RC・札幌清田RC  
札幌幌南RC・札幌真駒内RC・札幌南RC・札幌大通公園RC・新札幌RC・岩内RC・小樽RC  
小樽南RC・小樽銭函RC・余市RC・千歳RC・千歳セントラルRC・恵庭RC・北広島RC・長沼RC  
三石RC・静内RC・伊達RC・室蘭RC・室蘭北RC・登別RC・洞爺湖RC・函館RC・函館亀田RC  
七飯RC・長万部RC・函館セントラルRC・江差RC・函館東RC・函館北RC・北斗RC・白老RC  
苫小牧RC・苫小牧東RC・苫小牧北RC

## 2021－2022年度 ガバナーノミニー候補者推薦のお願い

地区ガバナー 小山 司  
地区ガバナー指名委員長 嵯峨 義輝

2021-2022年度地区ガバナーノミニー候補者として適格な会員が在籍しており、地区ガバナー指名委員会の審議を希望する地区内クラブは、12月1日必着にて、地区ガバナー指名委員長（地区ガバナー事務所気付）宛、文書（書式任意）をもってご推薦下さい。

なお、地区ガバナーノミニー資格条件については、国際ロータリー細則第16条第7節1項～5項及び第8節の資格条件に適していることを要します。

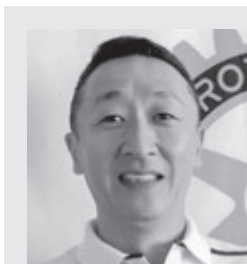
【参考】国際ロータリー細則第14条（ガバナーの指名と選挙）  
国際ロータリー第2510地区 地区ガバナー指名委員会規定  
（1998-1999年度地区年次大会決議第8号）

新会員のご紹介

(敬称略)



えりもRC  
**三木田 順治**  
8月1日入会  
電気器具販売



えりもRC  
**荒木 穰**  
8月1日入会  
すし店



えりもRC  
**大西 正紀**  
8月1日入会  
役場



えりもRC  
**住野谷 張貴**  
8月1日入会  
漁業協同組合



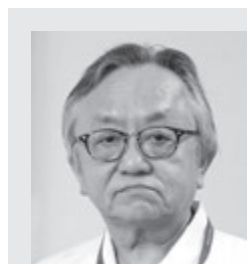
千歳セントラルRC  
**高野 悠**  
8月7日入会  
給排水・衛生設備工事業



伊達RC  
**大光 力**  
8月7日入会  
板金工事業



小樽RC  
**赤坂 佳代子**  
8月7日入会  
電力供給



小樽RC  
**向谷 充宏**  
8月7日入会  
外科医



小樽RC  
**早川 昌之**  
8月7日入会  
商業地方銀行



札幌北RC  
**プーナット・スパプクン**  
8月27日入会  
一般旅行業

訃報 謹んでお悔やみ申し上げますとともに心からご冥福をお祈り致します



静内RC  
**福田 義信 会員**  
2018年7月20日 ご逝去(享年65歳)

【ロータリー歴】  
1998年5月 入会  
2009-2010年 幹事  
2014-2015年 会長エレクト  
2015-2016年 45代 会長

【表彰】  
ポールハリスフェロー  
米山功労者



千歳RC  
**長澤 邦雄 会員**  
2018年8月16日 ご逝去(享年77歳)

【ロータリー歴】  
1983年2月 入会  
1989-1990年度 幹事  
1994-1995年度 第27代会長

【表彰】  
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(2)  
米山功労者(4)

# 米山奨学生の紹介 YONEYAMA SCHOLARSHIP



## 多彩な留学生生活を追求

冷 羽 (中国)  
小樽商科大学・余市RC



生まれてから多民族・多国人が集まる国境の町である丹東市に住んでいたため、子供の頃から異文化に深い関心を持っています。中学校から日本伝統文化とアニメに夢中になって、大学の時、大連の東北財経大学で日本語を勉強しました。ずっと日本へ留学する夢を抱き、卒業したら北海道への留学では人生の新しい出会いを探していました。

日本での一人暮らしから、自立した大人になって、色々貴重な体験を作りました。大学院の学業が忙しいですが、生活に情熱を持っていて、日常も充実しています。留学生たちとの異文化コミュニケーションをしたり、北海道の祭りに参加したり、全国を旅行したり、花道、茶道、香

道など伝統文化を体験したり、料理も上手になったり、すごく楽しいです。

今大学院二年生に入って、卒論をやっています。故郷東港市が農林水産物で有名になって、今度の卒論は今中国で一番人気の「インターネット+農業」という話題を選んで、東港市イチゴの事例から、EC(電子商取引)による中国農産物ブランド化について研究しています。

大学院を卒業したら、日本で進学するつもりです。北海道は農林水産物が多いので、今後も日中農産物ブランド化についての比較研究をやって、インターネット時代農業の新しいモデルを探したいです。

## 米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

美唄RC

井門 英明 会員 (12回) 8月31日

# ポリオプラス委員会からのお知らせ

## 映画「ブレス しあわせの呼吸」鑑賞会

9月18日～20日札幌シアターキノ(狸小路6丁目、011-231-9355)で行なわれました映画「ブレス しあわせの呼吸」団体鑑賞会について報告します。

9月19日は小山ガバナー夫妻も来館され、興味深く鑑賞されていました。各日とも来館者は5～6名とやや少ない状況でした。この映画は28歳でポリオにより全身マヒという状態になったにもかかわらず、64歳まで家族とともに幸せな人生を送った主人公の実話を描いたものです。道内では10月に苫小牧のシネマトーラスでもブレスを上映予定となっております。機会が御座いましたら皆様もぜひ鑑賞していただきたく存じます。





公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

# ハイライトよねやま

2018.9.13

Vol. 222

## 理事会・評議員会報告 —役員改選で新理事長就任—

下記の通り、理事会（8/21開催・書面）および定時評議員会（9/6開催）を開催しました。

**第二十回理事会** 議長：小沢一彦理事長 出席者：理事27人 監事2人 列席者3人

【主な議題】評議員後任候補者、理事・監事候補者、2017年度事業報告および附属明細書、2017年度計算書類、2018年度収支予算書一部修正、専門委員選任、定時評議員会招集など：原案通り承認

**第九回評議員会** 議長：仲田昌弘評議員 出席者：評議員20人 常務理事・監事8人 列席者1人

【主な議題】定款変更、2018年度評議員の選任、2018年度理事・監事の選任、2017年度計算書類承認など：原案通り承認

理事会および評議員会の前には、直前RI理事としてご列席の齋藤直美氏から「米山記念奨学会の意義」について、また、（公財）米山梅吉記念館理事長であり、当会評議員である積惟貞氏から「米山梅吉記念館創立50周年記念事業」についてのお話をいただきました。各会議終了後には、それぞれ退任される理事、評議員への感謝状贈呈を行いました。また、両会議において、任期満了で理事長を退く小沢一彦氏から最後のごあいさつを頂きました。評議員会終了後のセレモニーでは、齋藤直美氏から小沢一彦氏に感謝状が贈呈されました。



小沢前理事長(左)と齋藤新理事長

### 第二十一回理事会

評議員会での理事選任を受けて、決議の省略による理事会（書面決議）を開催し、右記の役員が選定されました。

理事長：齋藤直美氏（2760）	
副理事長：埴 東男氏（2820）	若林紀男氏（2660）
常務理事：武田和夫氏（2800）	山崎淳一氏（2830）
	水野 功氏（2750） 滝澤功治氏（2680）
名誉理事長：小沢一彦氏（2780）	

## GETS でよねやま親善大使がスピーチ

9月3日～4日に都内で開催されたガバナーエレクト研修セミナー（GETS）の2日目午後・閉会本会議において、当会の小沢一彦理事長と岩邊俊久事務局長が米山記念奨学事業の現況報告を行いました。小沢理事長はこの4年を振り返り、「米山ほどロータリーのためになり、平和のためになるプログラムはない。ぜひこの奨学事業に参画していただきたい」と、ガバナーエレクトにメッセージを送りました。

続く「学友3名のスピーチ」のセッションでは、ロータリー財団（グローバル補助金）学友とROTEX学友と共に、よねやま親善大使のアブデルアール・アハメドさんが登壇し、「米山奨学

生に選ばれて～奇跡の出会い～」と題してスピーチしました。母国エジプトの紹介をはじめ、「誰がカウンセラーかわからないくらい、皆さんにお世話になった」という世話クラブとの交流、研究の傍ら尽力する、日本の子どもたちへの異文化交流活動についての思いなどを語りました。アハメドさんならではの、ユーモアたっぷりのスピーチに会場は何度も笑いに包まれ、終わりには大きな拍手が送られました。



Rotary  
Zones 1 & 2 & 3



# コーディネーター 2018年10月号

# NEWS

発行：Zones 1 & 2 & 3  
ロータリーコーディネーター  
ロータリー公共イメージコーディネーター  
担当 第3ゾーン

## ■「増加及び増強について」

会員増加および増強が必要とすれば、根本的には質と数との問題はありますが、なぜ増加及び増強が必要なのかを理解しこの事を原動力とすることが大切だと思います。

RIロータリー章典(2017年6月版)によれば、「5.010.会員増加および増強」および「5.010.1.会員の増加における個々のロータリアンの役割」には「ロータリー会員であることの利点を他の人に推進することは、全てのロータリアンにとって共通した個人的な責務である。」と記されています。また、ロータリーの目的の第1には、知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること、とされています。これらからすると、そもそも会員増加および増強は全てのロータリアンの責務なのです。

個々の地区やクラブの問題として考えてみた場合には、1つの指針として「ロータリー章典(2017年6月版)17.010.3.地区の規模」には「クラブ数が75に満たない、また所属ロータリアン数が2700名に満たない地区にこれらの数に達するよう奨励している」となっています。これからするとこの基準を満たすまでは増加および増強の必然性ありと判断されますが、では基準を満たしている地区はこれ以上増加及び増強の必要はなくても良いのでしょうか？

1地区平均2700名止まりで良いとするなら我国は34地区ですから合計で91800人程度となり、RIは1ゾーン35000人±10%が必要としていますので、これでは3ゾーン(105000人必要)を保つ事が出来ません。3ゾーン体制を保つなら現状では計算上1地区平均3100人が必要となりますが、全ての地区やクラブがこの基準に達する事には中々計算通りにはいかないでしょう。

日本は今までの3ゾーン体制が今後2.5ゾーンに減少することが決定しています。日本のロータリアン数は現状90000人弱ですから元の3ゾーン体制に戻すなら人数的には全国で約15000人の増加が必要となります。基本的に個々の地区ではなく、日本ロータリー全体(各ゾーン)の問題として増加および増強を優先して考える事だと思います。

大きな地区はより大きく、小さな地区は少なくとも基準に向かっての普段の努力が求められます。短期的(3~5年程度)で純増15000人(1地区平均純増450人程度)の増加は可能でしょうか？簡単に可能な地区もあれば、中々難しい地区もあるかも知れませんが、数字的にみれば6人のロータリアン(全国で15000組)が数年で1人以上の会員を確実に入れれば達成できる数なのです。60人の会員数のクラブであれば、10人の会員増となります。

1つのメルクマールとして6人組を作ってはどうでしょうか。1つの方法論として申し上げました。

第1ゾーンロータリーコーディネーター補佐 坂本元彦 (富士見RC)

## ■「会員基盤向上セミナーから感じたこと」

今年も3月末に「会員基盤向上セミナー」が200名を越える参加者を得て、大変熱気に溢れたセミナーが開催出来、開催者の1人としてホッとすると共に各地区が会員増強・退会防止に苦慮していることを改めて強く感じました。

今回は、会員増強に成功された事例を多くご紹介することに重点を置いて、RC・RPIC・RRFCの方々準備を進めました。今回、取り分け反響が大きかったのは、大宮西RC高橋会長、東京八王子西RCの三浦PAGの事例紹介であったと感じています。その両名のお話に共通していたことは、誰がリーダーシップを取るのか、会員各位も増強や退会防止に関心はあるが、最初の一步をどう踏み出すかということが一番重要だと強調されていました。

増強に成功されているクラブは多かれ少なかれ、また形を変えてクラブの「戦略計画」を持たれています。八王子西RCは創立50周年を一つの契機にクラブ全体で50周年に100名を達成するという共通認識を持ち、会員各位がそれぞれ役割を持ち推進し、結果目標を達成したとお聞きしました。その勢いは、現在も続いており115名から120名を視野に増強を続けていると伺っています。

地区を上げての取り組みの成功例は2840地区が2013-14年度からの3年間で150名を越す増強に成功されていますが、ガバナー、エレクト、ノミニーとの連携で戦略計画を策定され、大きな成果を上げられました。

また、全国で最も会員数の多い2760地区は昨年度、神野ガバナーのリーダーシップの下、地区を挙げてクラブの戦略計画導入に尽力され、5000名に届く勢いの増強とクラブ拡大を達成されています。どんな組織でも、目標を持ち、それを実現するための計画が必要とされています。組織はその戦略に従うものであり、組織ありきでは決してありません。最初のリーダーシップを誰が取り、力強い第一歩を踏み出すのが、各クラブ、またそれを支える地区チームにとって最大の課題であると感じています。それを出来るのは、やはり会長であり、ガバナーであると思います。ただ、大事なことはガバナー年度、会長年度になって出来るものではなく、エレクト、ノミニーの時代からの思いと連携が必要であると考えます。また、強調したいのは、パストという役割です。パストは終わりを意味するのではなく、次の始まりであるとの認識が必要です。戦略計画を実行していく上で、パストの役割は大きいとも感じています。あくまでも、現年度のサポートという役割です。

さて、最後に多様性についてですが、基本はやはり職業分類にあると思います。クラブが末永く繁栄していくためには、様々な意味で多様性が必要であることは論を待たないと考えます。その基本にはクラブの構成メンバーのバランスが肝要だと強く思います。2760地区を拝見していると、その重要性を改めて感じます。もちろん、年齢構成、女性会員の比率なども重要ですが、職業分類の多様性もクラブの戦略計画を策定する場合の大事な要因であると思います。

会長、ガバナーには最初の一步を力強く踏み出していただきたいと思います！再度、3ゾーン復活を目指しましょう。

第2ゾーン ロータリーコーディネーター補佐 水野功 (東京飛火野RC)

## ロータリー探訪



# 未曾有の危機「実践活動」

第2510地区職業奉仕委員長

## 玉井 清治

(函館亀田RC)

それは深夜寝静まった時のことです。けたたましく携帯電話が鳴り響いて、その約10秒後に激しい揺れが襲ってきました。「地震だ!」何が何だかわからずオロオロし、何もできない自分が情けなく感じました。しばらくすると電気がストップ。テレビが、パソコンが、ラジオはあるが電池が見当たらない。電気が無いと人間というものは全くの無力だということを、この歳になってはじめて感じるとともに、この地震が大雪の北海道に襲ってきた時のことを想像すると身が凍る思いです。

最近の日本列島は自然災害続きで、地震、台風、大雨による堤防の決壊、土砂崩れなどで、尊い多くの命や財産、インフラが一瞬にして失われています。自然の力には人間はどうにも太刀打ちできません。“想定外”を想定するな!と云う声もありますが、宇宙規模から地球を見、人間を見れば人間の能力などは微々たるもので、いくら備えていても莫大の力がかけられれば、なるようにしかならないのが現実でしょう。ただし、備えがあれば被害が少なく済むかもしれません。備えは必要です。

北海道は以前、台風など被害はあれども未曾有の危機に遭遇したことは少なく、まして全国各地で発生する地震などは人ごとのように今まで私は思っておりました。つまり、被災地に支援する気持ちは頭の中にあっただものの、災害を受けたほうの立場になって考えたことは一度もありませんでした。

今回起きた台風20号による被害、その直後の北海道地震。巨人が踏み潰しているような光景ですが、この地区に発生した被害に対し、私たちロータリアンは、そしてロータリークラブは何をしなければならぬのでしょうか?

災害地へ寄付したいと思うなら、私たちはテレビ局や新聞社などを通して赤十字社に寄付する事ができます。「ロータリーは、ボランティア団体」と標榜しているのならば、先ずロータリークラブを救い、そのクラブが被害地域で活動できるように援助するのが先決のような気がします。今回の地震の震源地である「厚真町」や「安平町」にはロータリークラブはありませんので、周辺地域で被害の無いロータリークラブ群が核となって、被害地域を援助・支援する計画を立て、クラブが地区に援助・支援を呼びかけ、ガバナーがガバナー会、或いはRIに積極的に援助・支援を申し出る事が必要だと私は思います。つまり、現行の逆の発想であります。

被災地区が最初にすべきことは、地区に災害復興基金の銀行口座を開設することです。これと並行して、被災クラブ及び周辺のクラブは、地域社会のニーズに従った復興プ

ロジェクトを計画して、その資金を地区に申請します。大きなプロジェクトなど特別なことがない場合は実施するのはあくまで個々のクラブです。また、被害者にも色々のニーズがあり、クラブとして今必要な支援は、水・食料・医薬品・衣類等々から、家が倒壊して住む所がない人など。現在、短期、中期、長期の支援ニーズをまず調査し知り、地区を通してガバナーに援助・支援を求めるべきではないでしょうか。それが出来ないのであるならば、現状のやり方を踏襲するしかありません。ロータリーが行う災害復興事業は、行政の手が届かない、更に地元のニーズにかなった事業に取り組むべきだと思います。地域に密着した社会奉仕活動を実践する絶好の機会が与えられたと考えて、被災地区はプロジェクトの実践に、その他の地区はその原資の提供に頑張る。これがネットワークを利用したロータリーの姿だと思います。もちろん、個人の意思で直接災害復興事業に参加することも大きな意義があります。

また、職業奉仕活動ですが、職業人の集まりである私たちロータリーは、身のまわりで起こる想定外の天災や事故などに、まずは職業を通して地域社会にいかにか奉仕できるかを考え、実践することが大事であることを先輩ロータリアンから学んできました。そして、ロータリアン個人の職業奉仕活動をクラブとしてしっかり支援していかなければならないものを、何か実践活動と称して工場見学や企業訪問、優良従業員表彰などに満足していたと思います。この活動をけっして間違っているなどと思っておりませんが、このような活動はロータリー以外の親睦会などででもできる活動のように思います。ロータリークラブの職業奉仕の実践活動はもっと高次元のレベルなはずです。

災害が起こる前、常に、未曾有の危機に直面したことを想定して、その際、会員の職業奉仕活動をクラブとしてどのように支援するのか?をフォーラムなど、皆で考えるのもクラブとしての立派な職業奉仕実践活動だと私は思います。そして、人の不幸を自分の問題としてとらえる純度の高い哲学的な物の考え方。人の不幸に救いの手を差し伸べるとき、救われるのはむしろ手を差し伸べた自分の方だと考える。これがロータリーの奉仕ではないでしょうか。

参考文献:

2510地区PG 塚原房樹様(札幌東RC)「Stigma 恥辱の烙印」  
2680地区PG 田中毅様(尼崎西RC)「九州・西日本豪雨災害に対するロータリーの取り組み」  
2560地区 小山樞夫様(新潟RC)「災害支援とロータリー」

## 地区カレンダー(10月・11月)

10月 経済と地域社会の発展月間 米山月間	
1(月)	公式訪問(蘭越RC)
2(火)	公式訪問(小樽RC)
3(水)	公式訪問(余市RC)
4(木)	公式訪問(岩内RC)
5(金)	
6(土)	公式訪問(札幌手稲RC)
7(日)	
8(月)	体育の日
9(火)	公式訪問(赤平RC)
10(水)	公式訪問(砂川RC)
11(木)	公式訪問(滝川RC)
12(金)	
13(土)	白老RC創立40周年記念式典 第12グループIM
14(日)	
15(月)	
16(火)	
17(水)	公式訪問(静内RC)
18(木)	
19(金)	地区大会記念ゴルフ大会(島松)
20(土)	地区大会(札幌)
21(日)	地区大会(札幌)
22(月)	
23(火)	公式訪問(白老RC)
24(水)	公式訪問(函館北RC)
25(木)	公式訪問(千歳RC)
26(金)	公式訪問(苫小牧RC)
27(土)	
28(日)	
29(月)	公式訪問(札幌南RC)
30(火)	公式訪問(札幌清田RC)
31(水)	

11月 ローターリー財団月間	
1(木)	公式訪問(岩見沢RC)
2(金)	
3(土)	文化の日
4(日)	
5(月)	
6(火)	公式訪問(苫小牧北RC)
7(水)	
8(木)	公式訪問(札幌東RC)
9(金)	
10(土)	次期ガバナー補佐会議(札幌)
11(日)	
12(月)	
13(火)	公式訪問(札幌西RC)
14(水)	
15(木)	
16(金)	
17(土)	
18(日)	ロータリー財団地域セミナー(神戸)
19(月)	第1回ガバナーノミニー研修セミナー(神戸) 第2回ガバナーエレクト研修セミナー(神戸) 第2回ガバナー会(神戸)
20(火)	ロータリー研究会(神戸)
21(水)	ロータリー研究会(神戸)
22(木)	
23(金)	勤労感謝の日
24(土)	
25(日)	
26(月)	
27(火)	公式訪問(栗山RC)
28(水)	
29(木)	公式訪問(江別RC)
30(金)	

2018年10月のロータリーレート

1ドル 112円



## 出席率・会員数

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			2018.7.1	2018.8.31	増減	内女性	
1	深 川	3	33	33	0	2	78.50
	羽 幌	3	46	46	0	2	72.58
	妹背牛	3	7	7	0	0	80.95
	留 萌	3	33	33	0	3	74.75
	小 計		119	119	0	7	76.70
2	赤 平	3	27	27	0	2	74.64
	芦 別	4	31	31	0	2	81.61
	砂 川	4	40	40	0	1	92.10
	滝 川	5	93	96	3	4	69.00
	小 計		191	194	3	9	79.34
	3	美 唄	4	26	26	0	0
江 別		4	32	33	1	1	81.06
江別西		3	30	30	0	4	82.20
岩見沢		1	74	78	4	0	96.69
岩見沢東		3	17	17	0	2	72.06
栗 沢		2	19	19	0	1	96.90
栗 山		3	25	28	3	5	93.83
当 別		3	27	28	1	0	90.54
小 計			250	259	9	13	87.94
4		札 幌	4	121	130	9	2
	札幌はまなす	3	16	17	1	2	76.00
	札 幌 北	2	40	41	1	4	77.64
	札幌モーニング	3	34	34	0	0	73.12
	札 幌 西	2	50	51	1	9	74.25
	札幌西北	4	34	34	0	3	78.60
	札幌手稲	3	37	38	1	4	85.68
	小 計		332	345	13	24	80.56
5	札 幌 東	4	125	125	0	0	96.06
	札幌清田	2	13	13	0	4	100.00
	札幌幌南	3	66	67	1	9	95.19
	札幌真駒内	4	23	24	1	6	100.00
	札 幌 南	3	88	91	3	2	97.20
	札幌大通公園	2	14	14	0	4	85.70
	新 札 幌	3	25	25	0	4	90.91
	小 計		354	359	5	29	95.01
6	岩 内	4	20	21	1	1	87.95
	倶知安	3	36	37	1	4	68.40
	小 樽	3	71	74	3	5	84.82
	小樽南	4	65	65	0	4	84.10
	小樽銭函	4	22	22	0	1	80.00
	蘭 越	3	9	9	0	0	75.00
	余 市	4	43	43	0	6	76.40
	小 計		266	271	5	21	79.52

8 月 出 席 率 ・ 会 員 増 減 数	クラブ数	69クラブ
	期首会員数	2,544人
	当月末会員数(女性)	2,616人(173人)
	増加会員数	72人
	当月平均出席率	80.99%

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率	
			2018.7.1	2018.8.31	増減	内女性		
7	千 歳	3	69	76	7	9	80.43	
	千歳セントラル	3	39	41	2	8	70.73	
	恵 庭	4	49	52	3	3	73.41	
	北 広 島	3	16	16	0	0	75.55	
	長 沼	2	17	17	0	3	62.94	
	由 仁	2	7	7	0	0	70.00	
	小 計		197	209	12	23	72.18	
8	え り も	2	17	20	3	1	100.00	
	三 石	3	13	13	0	0	70.00	
	様 似	2	17	17	0	1	76.47	
	静 内	4	72	71	-1	5	84.38	
	浦 河	2	26	27	1	2	91.00	
	小 計		145	148	3	9	84.37	
	9	伊 達	3	64	65	1	1	80.52
		室 蘭	3	32	34	2	2	67.60
室蘭東		4	34	38	4	3	68.50	
室蘭北		3	46	47	1	2	90.40	
登 別		4	25	25	0	1	72.00	
洞 爺 湖		2	9	9	0	0	83.30	
小 計		210	218	8	9	77.05		
10	函 館	4	76	83	7	1	72.53	
	函館亀田	4	43	43	0	4	79.36	
	森	3	35	35	0	0	80.80	
	七 飯	2	12	12	0	0	87.50	
	長 万 部	2	10	10	0	0	50.00	
	函館セントラル	3	23	23	0	2	77.60	
小 計		199	206	7	7	74.63		
11	江 差	2	10	10	0	1	65.00	
	函館五稜郭	5	54	55	1	0	80.87	
	函 館 東	3	45	45	0	8	73.48	
	函 館 北	3	16	19	3	0	89.28	
	北 斗	4	12	12	0	0	54.00	
小 計		137	141	4	9	72.53		
12	白 老	3	30	30	0	3	81.60	
	苫小牧	4	59	62	3	3	83.54	
	苫小牧東	4	27	27	0	5	92.60	
	苫小牧北	3	28	28	0	2	89.89	
	小 計		144	147	3	13	86.91	
合 計		2,544	2,616	72	173	80.99		

※札幌幌南RCには札幌幌南ライラックロータリー衛星クラブの会員数13名(内女性会員6名)を含む

# 文庫通信

(372号)



「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

## 最近の資料より

### ◎「ロータリーの扉を開く言葉」

服部 芳樹 [2018] 11p

### ◎「ロータリー語ときあかし辞典」

服部 芳樹・北川 宥智 [2018] 43p

### ◎「日本のロータリーの伝統を守るクラブ細則」

服部 芳樹 [2018] 12p

### ◎「職業奉仕委員会報告書－永続・発展の職業奉仕とは!」

D.2530 [2018] 28p

### ◎「『内向き』と『外向き』わかりやすい職業奉仕」

D.2780 [2018] 43p

### ◎「プロフェッションの職業奉仕」 (凡太の奉仕経営物語)

高良 明 [2018] 5p

### ◎「ヘルスイライフーロータリアンの願い」

小林 博 [2018] 17p

〔上記申込先：ロータリー文庫〕

### ◎「ロータリーの心と原点〈改訂第8版〉」

廣畑 富雄 [2018] 171p 〔申込先：(株)エムケイスペース FAX(092)737-9557〕

### ◎「ロータリー財団ハンドブック」

D.2750 [2018] 123p 〔申込先：D.2750 FAX(03)5472-2750〕

### ◎「初期ロータリーを顧みて」

鈴木 宏 監修 [2014] 106p 〔申込先：鈴木宏 FAX(028)660-2224〕

## ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階  
 TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
 開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日



## 表紙写真

札幌市 藻岩山原始林の紅葉

撮影者：野口観光ホテルプロフェッショナル学院・

北海道文教大学外国語学部国際言語学科 講師 今野哲郎

